

所 属	林政部森林経営課			林政部森林保全課		
係 名	整備係	内線	4383	治山係	内線	4416

～災害に強い循環型の森林づくり～
激甚化する災害に備えた山地防災力の維持・強化

＜清流の国ぎふ森林・環境基金事業＞ 3（1）一部

1 事業費 4, 871, 900（前年度 4, 023, 104）

【財源内訳】

国庫 1, 925, 925
 県債 2, 674, 800
 繰入金 6, 600
 一般財源 264, 575

【主な使途】

工事請負費 4, 085, 100
 委託料 713, 800
 補助金 72, 000
 補償費 1, 000

2 背景・事業目的

近年の気候変動により、激甚化・頻発化する豪雨災害から、県民の生命・財産を守るとともに、林業の振興を図るため、治山施設と森林整備を組み合わせた事前防災対策を進め、山地防災力の維持・強化と災害に強い森林作業道の整備を推進する。

3 事業概要

(1) 治山施設と森林整備の組み合わせによる総合的な防災力の強化

(571, 000 千円)

市町村や林業事業体と連携した事前防災地区を設定し、間伐などの森林整備と、不安定土砂の移動を防ぐダムを設置等の治山対策を総合的に実施する。

(2) 山地災害危険地区における治山施設整備の推進 (4, 293, 400 千円)

防災・減災、国土強靱化対策として、災害発生リスクが高い山地災害危険地区において治山施設の整備を推進する。

(3) 災害に強い作業道づくりの促進 (7, 500 千円)

木材搬出等を予定している既設作業道について、安全性や耐久性を向上させるため路盤や排水処理施設の整備等を支援する。

[補助対象者：森林作業道の管理者等、補助額：県が定める単価以内、補助限度額：1路線1, 000千円等]

(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (4) 林道費 (明細書事業名) ○単独事業 林道開設等事業費
(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (5) 治山費 (明細書事業名) ○公共事業 治山事業費 他
(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (6) 森林整備費 (明細書事業名) ○公共事業 造林事業費 他

所 属	林政部森林経営課		
係 名	整備係／木質バイオマス産業係	内線	4383／4389

～災害に強い循環型の森林づくり～
100年先を見据えた森林づくりの方向性と仕組みづくり
 <清流の国ぎふ森林・環境基金事業> 3 (1) 一部 (2)

1 事業費	4, 225, 429 (前年度 4, 227, 603)	
	【財源内訳】	【主な用途】
	国庫 2,908,226	補助金 4,136,973
	繰入金 565,206	工事請負費 40,601
	一般財源 751,997	委託料 23,654

2 背景・事業目的

100年先を見据え、全ての森林を「木材生産林」「環境保全林」に区分し、主伐・再造林や間伐を促進しているが、ニホンジカによる食害等解決すべき課題も多い。

このため、間伐等に対する支援を継続するとともに、人工林の針広混交林化や広葉樹林化に向けたシカ被害や再造林等への対策を強化する。

3 事業概要

(1) 人工林における主伐・再造林、間伐等への支援 (4,158,212千円)

3月補正含む

- ・ 森林の若返りによる資源の平準化や森林の持つ公益的機能の向上のため、主伐・再造林や間伐等に要する経費を助成する。
[補助対象者：市町村等、補助率：4/10以内等]
- 新**・ スギ人工林を伐採し、花粉の少ない苗木への植替等について、交付金により支援するほか、従来のスギ・ヒノキ人工林と比較し、植栽本数や間伐回数を低減した低コスト化・省力化の施業体系構築に取り組む。
[交付対象者：森林所有者等、交付額：350千円/ha以内等]
- 新**・ 再造林地におけるニホンジカの食害を防止するため、林業事業者のくくりわなによる捕獲体制構築等に要する経費を助成する。
[補助対象者：森林組合等、補助率：10/10以内等]

(2) 人工林の針広混交林化の推進 (67,217千円)

- ・ 針葉樹人工林の針広混交林化に関する施業技術の確立に向けたモデル事業を実施する。
- 新**・ 生物多様性維持のため、遺伝子のかく乱防止に配慮した県内産種子由来の広葉樹の苗木生産体制を整備する。

(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (6) 森林整備費 (明細書事業名) ○公共事業 造林事業費 他
--

所 属	林政部森林活用推進課			林政部森林経営課		
係 名	森林活用係/木育推進係	内線	4343/4346	整備係/スマート林業推進係	内線	4383/4387

～災害に強い循環型の森林づくり～
社会課題の解決を目指した森林づくりの推進

＜清流の国ぎふ森林・環境基金事業＞ 3 (1) (4)

＜森林整備地域活動支援基金事業＞ 3 (3) 一部

1 事業費	241,444 (前年度 206,184)									
	<table border="0"> <tr> <td>【財源内訳】</td> <td>【主な使途】</td> </tr> <tr> <td>国庫 39,318</td> <td>補助金 237,614</td> </tr> <tr> <td>繰入金 169,323</td> <td>委託料 1,600</td> </tr> <tr> <td>一般財源 31,273</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他 1,530</td> <td></td> </tr> </table>	【財源内訳】	【主な使途】	国庫 39,318	補助金 237,614	繰入金 169,323	委託料 1,600	一般財源 31,273		その他 1,530
【財源内訳】	【主な使途】									
国庫 39,318	補助金 237,614									
繰入金 169,323	委託料 1,600									
一般財源 31,273										
その他 1,530										

2 背景・事業目的

近年、クマ等野生動物の人里への出没や大規模森林火災の発生、所有者不明による森林施業の断念など、森林に関係する様々な社会課題が生じている。これらの課題解決に向けた取組を進めるとともに、岐阜県で開催する「第10回「山の日」記念全国大会」を契機に、森林の価値や直面する課題を県内外に発信する。

3 事業概要

(1) 地域住民の生活環境を守る里山林の整備 (135,000 千円)

生活圏で倒木等の恐れがある樹木の除去及びクマ等野生動物と生活域の緩衝帯の整備を支援する。

[補助対象者：市町村等、補助率：10/10 以内等]

新 (2) 森林火災予防に向けた対策の推進 (1,530 千円)

森林火災発生時の迅速な消防活動のため、消防関係者や森林作業道管理者等と森林作業道の情報を共有する体制を構築するとともに、森林所有者に対する森林保険の加入や県民に対する森林火災予防の普及啓発を行う。

(3) 森林境界の明確化や新たな集約化手法への支援 (102,914 千円)

3月補正含む

森林境界の明確化に向けた取組や、新たな森林集約化手法へのモデル的取組を支援するとともに、他地域への普及を行う。

[補助対象者：林業事業体・地域協議会等、補助率：定額等]

新 (4) 第10回「山の日」記念全国大会開催を契機とした森林の価値等の発信 (2,000 千円)

8月に開催する「第10回「山の日」記念全国大会」に合わせて、森林の価値や直面する課題を伝え理解を促すとともに、森林への愛着を育む「ぎふ木育」を広く県内外へ発信する PR イベントを開催する。

(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (6) 森林整備費 (明細書事業名) ○森林整備地域活動支援事業費 他

所 属	林政部森林活用推進課		
係 名	森林吸収源対策係	内線	4346

～災害に強い循環型の森林づくり～
森林経営管理法に基づく市町村による森林管理の支援
 < 森林整備支援等基金事業 >

1 事業費	57,402 (前年度 51,936)		51,936
	【財源内訳】		【主な用途】
	繰入金 57,402		委託料 37,901
			補助金 19,041

2 背景・事業目的

森林経営管理制度に基づき、市町村が主体となり、林業事業者等と連携して、適切に管理が行われていない森林の整備に取り組んでいるものの、市町村では専門知識を有する林務担当職員が少なく、マンパワーや技術的知見が不足している。このため、「地域森林管理支援センター」の運営や、「岐阜県地域森林監理士」の活用支援等により、市町村による森林経営管理制度の取組を支援する。

3 事業概要

(1) 「地域森林管理支援センター」の運営 (33,960 千円)

市町村の林務行政を支援するため、「地域森林管理支援センター」において、市町村からの相談対応や専門家への相談斡旋、市町村林務担当職員向けの研修等を実施する。

(2) 「岐阜県地域森林監理士」の養成・活用支援 (23,442 千円)

- ・ 森林管理・経営に必要な専門的な知識・技術を有する「岐阜県地域森林監理士」を養成・認定する。
- ・ 市町村の林務行政の支援や林業事業者の経営体質を強化するため、「岐阜県地域森林監理士」の活用に必要な経費を助成する。
 [補助対象者：市町村（林務行政の支援）、林業事業者（経営体質強化）
 補助率：市町村 23/100 以内、林業事業者 1/2 以内]

(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (2) 林業振興費
 (明細書事業名) ○100年先の森林づくり事業費 100年の森林づくり計画策定事業費

所 属	林政部林政課			林政部森林経営課		
係 名	政策企画係	内線	4313	担い手企画係	内線	4389

森林技術者の確保・育成・定着

＜森林整備支援等基金事業＞ 3（3）一部

1 事業費 368,684（前年度 53,069）

【財源内訳】

国庫	188,820
県債	159,100
繰入金	9,750
一般財源	11,014

【主な用途】

工事請負費	311,905
補助金	44,300
委託料	11,636

2 背景・事業目的

「森のジョブステーションぎふ」が核となり森林技術者の確保・育成・定着に取り組んでいるが、依然として担い手不足は続いている。

このため、森林文化アカデミーと連携し、新規就業者の確保に加え、林業等の諸課題に対応できる技術者の育成・定着を一層推進する。

3 事業概要

新 (1) 新たな森林・林業の担い手戦略の策定

人口減少により、今後更なる森林技術者不足が予想されることから、限られた人材で持続可能な森林・林業の実現を目指す新たな担い手戦略を策定する。

(2) 森林技術者の確保・育成・定着 (20,250千円) 3月補正

- 新規就業者等が安全な作業と技術を早期に習得できるよう、集合研修・OJT研修・巡回指導による人材育成を支援する。

- 新 研修カリキュラムを作成し、林業労働災害が特に多い中堅技術者の安全意識向上と指導力強化を図る。

(3) 移住者等への林業就業支援 (29,300千円)

県外から移住し、林業に就業した者に対する就業支援金や、森林文化アカデミー学生に対する林業への就業準備金を給付する。

[給付額：世帯1,000千円、単身600千円、学生1,150千円]

(4) 森林文化アカデミー校舎改修を通じた学生への実践的教育の実施や建築士の育成 (319,134千円) 3月補正

カーボンニュートラル社会の実現に向けた温熱・省エネ対策及び校舎の長寿命化のため改修工事を行うとともに、本工事を先進的な大型木造改修事例として、授業や建築士への講義に取り入れ、技術者の育成につなげる。

(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (2) 林業振興費
(明細書事業名) ○森林文化アカデミー費 森林文化アカデミー運営費 他

所 属	林政部県産材流通課			林政部森林経営課		
係 名	資源活用係/加工流通係/消費対策係/販路拡大係	内線	4362/4365/4366	木質バイオマス産業係	内線	4389

都市の木造化・脱炭素社会の実現に向けた県産材の需要拡大

＜清流の国ぎふ森林・環境基金事業＞ 3（6）一部
 ＜森林整備支援等基金事業＞ 3（3）一部（6）一部

1 事業費 543,522（前年度 464,143）

【財源内訳】

国庫 440,823
 繰入金 28,388
 一般財源 74,311

【主な用途】

補助金 494,672
 委託料 44,210
 報償費 453

2 背景・事業目的

県民や事業者の県産材利用への理解を深めるため、県産材利用促進条例に基づき、建築物等への県産材利用の促進、輸出の促進及び県産材利用への理解の醸成などを図り、県産材の需要拡大を推進する。

3 事業概要

新 (1) 新たな大径材利活用戦略の策定

森林の高齢化によって大径化が進展するスギ・ヒノキ材の利活用に向けた新たな戦略を策定する。

(2) 県産材を活用した建築物の木造化等への支援（476,322千円）

- ・ 木造住宅の新築等で県産材を一定量以上活用した建築主や県産材を活用した産直住宅建設団体を支援する。
- ・ 県と協定を締結した事業者が行う非住宅建築物の木造化、内装木質化等の県産材利用に要する経費の一部を助成する。

新・ 県産材を活用した住宅のリノベーションに要する経費を助成する。

(3) 「ぎふ木造建築相談センター」の機能強化（25,440千円）3月補正

非住宅建築物の木造化等の相談や技術支援に加え、木材調達に関する情報収集・共有を図り、木材の安定供給体制を強化する。

(4) 中大規模木造建築の技術開発に係る基本計画の策定（1,000千円）

3月補正

中大規模建築物の木造化・木質化の推進に必要な技術支援及び試験研究体制の再構築のための基本計画を策定する。

(5) 県産材の販路拡大の推進（22,310千円）3月補正

首都圏等に県産材製品の斡旋を行う相談窓口の設置等を実施するほか、欧州等での見本市への出展等を支援する。

(6) 地産地消型のバイオマス燃料の利用促進（18,450千円）

木質バイオマスの熱利用を進めるため、県が認定したアドバイザーを木質バイオマス利用施設等に派遣し、設備の導入を支援するとともに、市町村や地域住民等が協働して行う木質バイオマスの搬出に要する経費を助成する。

(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (3) 県産材流通対策費

(明細書事業名) ○木材利用推進対策費 木の香る環境づくりぎふ推進費 他

所属	林政部林政課			林政部県産材流通課			林政部森林経営課		
係名	政策企画係	内線	4313	加工流通係/販路拡大係	内線	4365/4366	スマート林業推進係	内線	4387

～DXの推進による林業・木材産業改革～
**需要に合わせ柔軟かつ迅速に対応する
 木材サプライチェーンの構築**

＜森林整備支援等基金事業＞ 3（4）一部

1 事業費 33,198（前年度 36,433）

【財源内訳】

【主な用途】

国庫	13,905	補助金	26,100
繰入金	1,000	委託料	2,140
一般財源	18,290	報償費	676
その他	3		

2 背景・事業目的

ウッドショックのような急激な需給変動や、輸入材から国産材への転換に対応するため、県産材の安定供給が求められている。

このため、木材生産から加工・流通過程のデジタル化を進め、需給調整を行う体制を確立するとともに、品質の確かな製材品等の増産を支援し、需要の変化に迅速に対応できるサプライチェーンの構築を促進する。

3 事業概要

(1) 広葉樹の新たなサプライチェーンの構築 (3,600千円) **3月補正**

新・ 広葉樹の活用と付加価値化を促進するため、広葉樹の加工流通施設の整備に要する経費を助成する。

[補助対象者：広葉樹を取扱う加工・流通事業者等、補助率：1/2以内]

・ 地域の広葉樹を家具や内装材に利用するため、生産・加工・流通・販売等のサプライチェーン構築に取り組む団体を支援する。

[補助対象者：加工・流通事業者等で構成する団体等、補助率：1/2以内]

(2) 住宅建築・木材需給の情報共有システム構築への支援 (3,000千円)

3月補正

県産材住宅の建設促進に向けて生産・流通・販売の連携を強化し、需給調整や販路拡大に取り組む団体を支援する。

(3) 中小製材工場の水平連携に向けた新製品開発の推進 (10,641千円)

3月補正含む

中小の製材事業者の強みを生かした新製品の開発を推進するとともに、事業者間の水平連携に向けた検討会を開催する。

(4) 木材産業の競争力強化のためのDXの推進 (6,000千円) **3月補正含む**

DXに関する研修会の開催とアドバイザーを派遣するほか、DXのシステム等の導入に要する経費を助成する。

(5) ICT等を導入する事業者への支援 (9,957千円) **3月補正含む**

ICT等の新技術活用により、適正な森林管理、効率的な林業生産、作業安全性の向上促進等に取り組む林業事業体を支援する。

(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (3) 県産材流通対策費 (明細書事業名) ○木材利用推進対策費 県産材利活用推進費 他
--

所 属	林政部森林経営課		
係 名	林道係／スマート林業推進係／木質バイオマス産業係	内線	4387／4389

～DXの推進による林業・木材産業改革～
木材の安定供給と森林所有者への利益還元

1 事業費 1,753,406 (前年度 1,621,802)

【財源内訳】		【主な使途】	
国庫	760,023	補助金	687,316
県債	885,500	工事請負費	894,560
負担金	4,736	委託料	171,528
一般財源	103,147		

2 背景・事業目的

需給変動に柔軟かつ迅速に対応できる原木の効率的・安定的な供給と森林所有者への十分な利益還元を図るため、燃料材主体でも収益が期待できる「エネルギーの森づくり」を支援するほか、スマート林業の普及、森林経営計画の策定促進及び林道等の整備により木材生産性向上を図る。

3 事業概要

(1) 燃料材主体でも収益が期待できる「エネルギーの森づくり」※の推進 (23,825千円)

エネルギーの森の実証に取り組む事業者に対し、実証にかかる経費を、また、エネルギーの森の整備に取り組む事業者に対し、燃料材搬出経費等を助成する。

[補助対象者：木質バイオマス供給事業者等、補助率：定額]

※エネルギーの森づくり

再生可能エネルギーの需要の増加や林業労働力の不足に対応するため、できるだけ手間をかけず、より多くの燃料材を短期間で生産する取組。

(2) 林業機械の購入・レンタルへの支援 (20,992千円) 3月補正

林業事業体の林業機械購入経費を助成するとともに、小規模な林業事業体に対して機械レンタル経費の助成及び技術指導を行う。

[補助対象者：林業事業者等、補助率：4/10以内等]

(3) 林道等路網整備の推進 (1,708,589千円)

市町村が行う林道の整備に要する経費を助成するとともに、基幹的な林道及び林業専用道を県が代行して整備する。

(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (3) 県産材流通対策費 (明細書事業名) ○木材生産流通対策費 県産材利用総合対策事業費
(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (4) 林道費 (明細書事業名) ○公共事業 林道事業費 他

所 属	林政部森林活用推進課		
係 名	森林サービス産業支援係	内線	4345

～森林空間等を活用した森林サービス産業の育成による山村振興～
新たな雇用と収入を生み出す森林サービス産業の育成

＜清流の国ぎふ森林・環境基金事業＞ 3（3）一部

1 事業費	99,439	(前年度	20,885)
	【財源内訳】	【主な使途】	
	国庫	86,069	補助金 87,500
	繰入金	2,300	負担金 5,290
	一般財源	11,070	

2 背景・事業目的

社会のデジタル化が進むなか、森林がもたらす癒しの享受や五感で自然を体験することへのニーズが高まっている。さらに、観光誘客の観点から、アウトドアツーリズムやインバウンドへの期待も高まっている。一方、山村地域では産業の停滞や若者の流出が課題となっていることから、山村地域に新たな雇用や収入機会、関係人口の創出及びインバウンドの受入れに向け、高付加価値の森林サービス産業の育成を推進する。

3 事業概要

新 (1) 森林空間等アウトドア資源への誘客に向けた環境整備の支援

(75,000 千円)

森林空間等を活用した質の高いアウトドア体験の提供に意欲的な事業者等に対し、トイレ等の衛生施設や駐車場等の受入環境整備に要する費用の支援を実施する。

[補助対象者：民間事業者・市町村]

補 助 率：民間事業者 2 / 3 以内・市町村 1 / 2 以内]

(2) インバウンド受入れに向けた事業者支援及びモニターツアーの実施
(16,655 千円)

- 新たに森林サービス産業を実施する事業者、インバウンド受入れに取り組む事業者に対し、プランナー派遣等の伴走型支援や、事業に要する初期費用の支援を実施する。

[補助対象者：民間事業者、補助率：1 / 2 以内]

新・ インバウンド受入れに向けたモニターツアーを実施する。

(3) 「ぎふ森フェス」開催支援等による森林サービス産業の育成

(7,784 千円) **3月補正含む**

「ぎふ森のある暮らし推進協議会」が主催する「ぎふ森フェス」の開催支援や、全国の先進事例を学び、実践者と交流を図る「森林サービス産業全国交流会」の開催等により、県内の森林サービス産業の更なる発展を推進する。

(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (2) 林業振興費
(明細書事業名) ○緑化推進費 緑化推進費

所 属	林政部森林活用推進課			林政部森林経営課			林政部森林保全課		
係 名	森林吸収源対策係/緑化推進係	内線	4346/4348	木質バイオマス産業係	内線	4389	水源林保全係	内線	4416

～森林空間等を活用した森林サービス産業の育成による山村振興～ カーボンニュートラルの実現に向けた取組

＜森林整備支援等基金事業＞ 3 (1) 一部 (5) 一部
 ＜清流の国ぎふ森林・環境基金事業＞ 3 (5) 一部

1 事業費 90,839 (前年度 85,206)

【財源内訳】

国庫 20,000
 財産収入 8,800
 繰入金 56,930
 一般財源 5,109

【主な使途】

委託料 43,736
 補助金 41,725

2 背景・事業目的

健全で豊かな森林づくりと「脱炭素社会ぎふ」の実現に向け、二酸化炭素吸収源としての森林の活用を推進する。

また、木質バイオマスのエネルギー利用を進めるため、燃料材林（エネルギーの森）の整備や施設の導入支援に取り組む。

3 事業概要

(1) 「G-クレジット制度」の推進 (39,180 千円)

G-クレジットの創出拡大に加え、G-クレジット購入者への表彰制度や活用方法の拡充により魅力を向上させ、取引の活性化を図る。

(2) 県営林J-クレジットの取得・販売の推進 (8,800 千円)

県営林において、国のJ-クレジット制度に基づき認証されたクレジットを販売するとともに、新たなクレジットの取得を進める。

(3) 企業との協働による森林づくりの推進 (584 千円)

市町村と連携し、企業等による植栽など森林づくり活動を支援する。また、「岐阜県地球環境の保全のための森林づくり条例」に基づき、企業等の森林づくり活動による二酸化炭素吸収量を認定する。

(4) 燃料材主体でも収益が期待できる「エネルギーの森づくり」の推進 (23,825 千円) 【再掲】

エネルギーの森の実証に取り組む事業者に対し、実証にかかる経費を、また、エネルギーの森の整備に取り組む事業者に対し、燃料材搬出経費等を助成する。

〔補助対象者：木質バイオマス供給事業者等、補助率：定額〕

(5) 地産地消型のバイオマス燃料の利用促進 (18,450 千円) 【再掲】

木質バイオマスの熱利用を進めるため、県が認定したアドバイザーを木質バイオマス利用施設等に派遣し、設備の導入を支援するとともに、市町村や地域住民等が協働して行う木質バイオマスの搬出に要する経費を助成する。

(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (2) 林業振興費

(明細書事業名) ○100年先の森林づくり事業費 100年の森林づくり計画策定事業費 他

所 属	林政部森林活用推進課		
係 名	木育推進係	内線	4346

～森林空間等を活用した森林サービス産業の育成による山村振興～
**「ぎふ木育 30 年ビジョン」の実現に向けた
「ぎふ木育」の推進**

＜清流の国ぎふ森林・環境基金事業＞ 3 (1) (2) (3) 一部
＜森林整備支援等基金事業＞ 3 (3) 一部

1 事業費	142,919 (前年度 110,502)	
	【財源内訳】	【主な使途】
	繰入金 142,919	委託料 87,406 補助金 37,666

2 背景・事業目的

森林・林業に対する県民の意識を醸成するため、「ぎふ木遊館」と「森林総合教育センター (morinos)」を核として、森や木に親しみ、森とのつながりや森林文化の豊かさを段階的、継続的に学ぶ機会を提供する。

3 事業概要

- (1) 「ぎふ木遊館サテライト施設」の整備支援 (36,666 千円)
新たな「ぎふ木遊館サテライト施設」(揖斐川町)の整備を支援する。
- (2) 「ぎふ木育コーディネーター」を中心とした「ぎふ木育」の普及 (10,553 千円)
 - ・ 地域における「ぎふ木育」推進の総合調整を担う「ぎふ木育コーディネーター」を、新たに岐阜、西濃、中濃圏域に配置し、人材育成や木育教室への指導者派遣等を行う。
 - ・ 「ぎふ木育コーディネーター」による地域で活動する木育・森林環境教育関係者を対象とした交流会を開催するなど、ぎふ木育人材のネットワーク化を行う。
 - ・ 森林空間を活用した「ぎふ木育」を提供できる人材を育成するため、「ぎふ木育指導員」を養成する。
- (3) ぎふ木遊館、森林総合教育センター (morinos) による出前プログラム等の実施 (95,700 千円)
「ぎふ木遊館」における木育体験や、「morinos」における森林内活動体験、県内各地へ出向いて実施する「移動型ぎふ木遊館」、「森の出番プロジェクト」など、全世代を対象とした多様なプログラムを実施するほか、異年齢の子どもが交流する活動や、「遊び」と「学び」を融合した活動など、新たなプログラムを開発・実践する。

(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (2) 林業振興費
(明細書事業名) ○緑化推進費 緑化推進費

所 属	林政部林政課			林政部県産材流通課		
係 名	政策企画係	内線	4313	資源活用係	内線	4362

きのこなどの特用林産物の振興

＜森林整備支援等基金事業＞ 3（2）一部

1 事業費	48,729（前年度 14,910）	
	【財源内訳】	【主な使途】
	国庫 43,964	補助金 46,688
	繰入金 1,000	委託料 1,163
	一般財源 3,765	報償費 216

2 背景・事業目的

原木などのきのこ生産資材の不足や価格高騰を踏まえ、県内産原木の安定供給を促進するとともに生産資材の調達を支援する。また、きのこ原木用に伐採された広葉樹林再生に向けた施業方法を構築する。

3 事業概要

新 (1) 新たな特用林産振興方針の策定

林業産出額の約3割を占め、山村地域の重要な収入源である特用林産物の生産振興を図るため、新たな特用林産振興方針を策定する。

(2) きのこ生産者等への支援 (47,226 千円) 3月補正含む

- きのこ生産者が購入する生産資材の高騰分に対し助成するほか、しいたけ原木生産者等による広葉樹の伐採、搬出路開設及び運搬に要する経費の一部を助成する。

- 新・しいたけ原木伐採後の広葉樹林再生に向け、獣害防除手法の検証等を実施し、萌芽更新を円滑に進めるための施業方法を構築する。

(3) 高級菌根性きのこ（黒トリュフ）栽培に関する技術開発 (441 千円)

令和5年度から継続発生を確認した黒トリュフについて、短期間かつ安定的に発生させる技術を開発する。

(4) 薪生産設備の導入支援 (1,062 千円) 3月補正

小規模な薪生産者等が行う、薪の材料となる原木の大径化に対応した施設整備に要する経費を助成する。

(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (3) 県産材流通対策費 (明細書事業名) ○木材生産流通対策費 間伐材需要拡大対策事業費
(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (3) 県産材流通対策費 (明細書事業名) ○特用林産振興推進費 特用林産需給安定対策推進費
(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (8) 森林研究費 (明細書事業名) ○森林研究所費 県単試験調査費

所 属	林政部森林活用推進課			環境エネルギー生活部環境生活政策課		
係 名	森林活用係	内線	4343	管理調整係	内線	2914

「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用した自然環境の保全・再生 <清流の国ぎふ森林・環境基金事業>

1 事業費	1,446,750 (前年度 1,464,075)	
	【財源内訳】	【主な使途】
	繰入金 1,446,750	補助金 1,099,776
		委託料 205,947
		工事請負費 70,601

2 背景・事業目的

管理不足の森林の増加、野生鳥獣による被害の増加、水環境の悪化などにより、森林や河川の持つ公益的機能の低下が懸念されている。

このため、「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用して、人づくりや仕組みづくりを行い、地域のニーズに沿って、自然環境の保全・再生に向けた取組を行う。

3 事業概要

(1) 森林部門 (1,066,357 千円)

奥地水源林の間伐、危険な樹木の除去、被害森林等での早生樹の植栽等の森林整備を支援する。また、啓発効果の高い公共施設等の木造化・内装木質化を支援するとともに、森や木、川に関する環境教育や「ぎふ木育」に取り組む。

(2) 環境部門 (346,686 千円)

鳥獣被害対策として、ニホンジカやカワウ等の捕獲を支援するとともに、岐阜大学と共同で被害対策を推進する。また、自然生態系の保全のための河川清掃や魚道の改修等を行うほか、環境問題について体験・交流することにより行動変容につなげる環境学習プログラム等を実施する。

(3) 共通部門 (33,707 千円)

地域団体等が自ら企画・立案・実行する創意工夫を凝らした森づくりや川づくり活動の取組を支援する。また、外部有識者等で構成する第三者機関の設置等により、基金事業の透明性を確保する。

(款) 6 農林水産費 (項) 5 林業費 (目) (6) 森林整備費 (明細書事業名) ○単独事業 造林事業費 他
